

テーマ みんなが楽しく過ごせる学校とは



市内小中学校の児童生徒の代表が一堂に会し、第18回魚津市子ども会議が開かれました。中学生の司会・進行で、前半は各学校の取組を発表しました。後半はグループになり「みんなが楽しく過ごせる学校にするにはどのようなことをしたらよいか」について、温かい雰囲気の中、自分の思いや考えを自由に伝え合いました。「話し合う」ことの楽しさを実感しながら、よりよい学校にしたいという願いを共有することができました。



みんなが楽しく過ごせる学校にするためにどのようなことをしたらよいか

『相手のことを考えたあいさつをする』『ポジティブな言葉を増やす』『相手との共通点を見つける』
『みんなが参加できる〇〇大会や〇〇活動を増やす』『みんなで楽しい時間を共有する』『言いたいことを遠慮なく言える雰囲気をつくる』『一人一人を大事にする』『一人一人が学校のよさを知る』 など

「みんなが楽しく過ごせる学校」に向けての取組

西部中学校 生徒会のスローガン「創一つくる」を達成するために、生徒の主体性を生かした活動に取り組んだ。各学級で心温まる言動について話し合う「Love & Peace運動」や、全校生徒が「安心して楽しく過ごせる学校」をテーマに作文を書き、代表者が発表する「少年少女の主張」などの活動を通して、互いのよさに気づき、よりよい学校を自分たちでつくっていかうという思いが高まった。「ディベート大会」では、テーマについて論理的に考え、意見を述べたり反論したりすることを楽しむ生徒が多く、よい取組となった。

東部中学校 「中学生らしさとは何だろう」というテーマのもと、学級や代表者による評議会では話し合いを重ね、生徒総会を開催し、学校生活の基本となる「生徒心得」の見直しを進めた。生徒が校則はなぜ必要なのかについて理解を深め、主体的にきまりを守ろうとする雰囲気が広がった。また、前庭をライトで点灯する「東中ライトアップ作戦」を計画し、生徒会役員会や委員会などで「生徒一人一人が輝ける学校をつくろう」という思いを高める取組を行っていく。

星の杜小学校 「あいさつ運動」では、目を合わせてハイタッチするなど、相手を大切にすると明るいあいさつを心がけたことで、大きな声であいさつを返す児童が増えた。また、「縦割り班活動」では、学年が違うメンバーで清掃やさつまいも栽培に取り組み、班で協力し、楽しい時間を共有することで仲を深めている。

よつば小学校 毎朝のあいさつ運動に加え、スタンプラリーやポスターコンクールなどを行ったことで、あいさつを通して関わりを深める児童が増えた。よりよい学校生活について各クラスで話し合ったことを基に「高学年会議」を行ったことで、「自分たちの力で学校をよりよくしたい」という思いが高まった。

清流小学校 「笑顔いっぱい あいさついっぱい」の学校を目指して、委員会や学年ごとのあいさつ運動や「あいさつくじ引き」などの取組を取り入れたことで、あいさつの輪が広がってきている。また、災害への備えについて全校に呼びかける活動も行い、安全・安心な学校づくりを目指して取り組んでいる。

道下小学校 あいさつ運動へのボランティア参加を促す「にこボラ」を進めたことで、元気なあいさつが広がってきた。また、毎月第2週目には、地域の方にも参加してもらっている。一緒にあいさつをしたり話したりする中で、地域の方の思いを知り、よりよい学校にしていきたいという思いを高めている。

経田小学校 「さわやかあいさつチャレンジ」の取組では、あいさつのめあてを決めたり上手な人を放送で紹介したりしたことで、あいさつに意欲的な児童が増えた。また、よりよい学校生活に向けて代表委員会を行い、一人一人の意見がよりよい学校づくりに生かされるように真剣に話し合いを行っている。

主催：魚津市教育委員会 会場：魚津市教育センター